

# 綾北中学校だより

綾瀬市立綾北中学校  
校長 塚 千津子

## 三学期始業式の校長講話より

新年がはじまりました。皆さんの元気な顔が見られて大変うれしく思います。

さて今年も午年、皆さん



に中国のことわざをお伝えしたいと思えます。

中国のある村に、ひとりのおじいさんがいました。唯一の財産は一頭の馬、そして、一人息子と住んでいました。ところがある日その馬が逃げてしまいました。集まってきた村人たちに、おじいさんは冷静に「いや、これは何か良いことの始まりかもしれない」と言いました。数日すると、馬がその馬よりもさらに良い馬と一緒に連れて帰ってきました。集まった村人達に「いや、これは何か悪いことこの始まりかもしれない」と。するとおじいさんの息子がその馬から落ちて、足を骨折し、歩けなくなりました。おじいさんは「いや、戦争が起きました。しばらくすると、戦争が起きました。村の若者は、ほとんど死んでしまいました。でも、おじいさんの一人息子は足を骨折していたので、戦争に行かずに生き残りました。

このことわざを耳にするたび、2001

2年ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥教授の話を出します。ノーベル賞受賞の山中教授にもたくさんの「塞翁が馬」があったといえます。

以下、山中教授のインタビュー記事から抜粋します。

「医学部を卒業して医者になったわけですが、一番喜んでくれたのは父親でした。父は小さな町工場を営んでおりました。私がちょうど中学生の時、肝臓の病気になってしまいました。そのことが原因で、父は私に、経営者ではなくて、医学の道を勧めたのだなと思っています。そしていよいよ卒業。私が配属された病院は、新しく建て直したばかりの素晴らしい病院でした。私は喜んで働き始めました。これが「塞翁が馬」の始まりでした。鬼より怖いような上司の先生がいて、その後怒られなかった日は一日もありません。さらに、その間に大好きだった父親が亡くなってしまいました。毎日怒鳴られて、手術もうまいことできない。しかも、父親を助けることができなかった。医師としての自信を全く失ってしまいました。この後の人生考え直して、もう一度大学院に入り、研究者の道歩み出し、その後、アメリカへ。アメリカでの研究が非常に順調で、「やっ」と天職を見つけた。ずっと研究者で頑張ろう」と思って日本に帰ってきました

たが、アメリカと研究環境が全然違って、また自信を失いました。日本では、実験動物、ネズミの世話をする必要があって、毎日毎日、ネズミの世話ばかり。どうしよう、このまま世話ばかりしていても、役になんか立つわけがない。また自信を無くしてしまいました。ちょっとまうまういかなくなると、また逃げて出して医者に戻ろうと。さすがに二回目になると、なかなか踏み切りがつかない。そんな時、散歩してましたら、目の前にとってもいい感じの空き地があったんです。僕はその時に、その土地を買って、家を建てて、研究者をやめて医者に戻ろうと思えました。不動産屋で

いよいよ契約の日がやってきました。するとその日、いきなり母親から電話がかかってきたんです。何を言いますかと

思ったら「土地を買ったらしいけども、昨日の晩お父ちゃんが夢枕に立って、伸弥に思い留まるように言えよといったんだ」と言うんですね。僕は何を言っているんだと、そんなこと言われても無理だと思っただんですが、さすがに母親にいわれると、なんか一日だけ待ってみようかなと思って、不動産屋さんに電話して、一日だけ待ってもらうことにしました。ところが、その日の夕方に、「申し訳ありませんがあの土地、他の方に売れました」と。その時は本当に母親のことを恨みましたし、また夢枕に出てきた父親にも「何ちゆうことすねん」と思って恨みました。そのことが結局は研究を辞めずに踏み留まることになって、その6年後ぐらいに、iPS細胞という技術に出会うことができました。そして、2012年にはノーベル生理学・医学賞を受賞しました。賞をもらったときはうれしかったですが、受賞のあとで、私は謝罪会見というのを2回もやってます。それも注目を浴びるようになった結果です。ですから、ノーベル賞をもらったことも、やっぱり「塞翁が馬」。

ここまでがインタビュー記事です。

村人のように「喜一憂するのではなく、おじいさんのようにどっしりと構えてください。「見良くない事が起こったその時こそ、「いや、これはチャンスかもしれない」と、そんな風に考えてもらいたいと思います。

## 生徒会本部役員任命式が行われました

始業式に続いて生徒会本部役員任命式が行われました。

個人情報のため、写真は掲載  
しません

- 後方 青木 暖真さん(会計)
- 前方 土田 奏空さん(副会長)
- 小原 大空さん(会計)
- 鈴木 花和さん(会長)
- 高木 心陽さん(書記)
- 金田 望羽さん(副会長)
- 倉田 一花さん(書記)

任命後に新会長の鈴木

花和さんが就任の挨拶をし、これからの意気込みを語りました。

また任命式に続いて前会長の古川

るみさんによる退任の挨拶がありました。旧役員から新役員へ綾北中学校への思いが引き継がれ、新たな綾北中学校生徒会の活動が始まります。

## 生徒会新会長あいさつ

今年度、新任生徒会長になりました鈴木花和です。

今年から新しい7人の生徒会メンバーで協力して、全力で学校を良くしていきたいと思っています。

去年は皆さんにも協力していただき、体育祭や鵬綾フェスタなどの行事を盛り上げることができました。その成果を活かして今年も行事を盛り上げていきたいです。

私たちは、去年の活動を大切にし、前向きに新たな取り組みを行い、皆さんが毎日楽しく過ごしやすい綾北中学校になることを目指して力を尽くしていきます。

今日から私たち生徒会と学校生活を楽しくしていきます。よろしくお願いたします。

## 各学年の学年通信発行状況

- 1 学年 第35号「三学期の主な行事予定」について
- 2 学年 第34号「11月当初の予定」について
- 3 学年 第58号「三学期の主な行事予定」について

※1月15日(木)現在の発行状況です。